

氏名	杉山 進 SUGIYAMA Susumu
所属 職名	人間文化創成科学研究科文化科学系 教授
学位	体育学修士（東京教育大学）
専門分野	体育学、特にスポーツ哲学とスポーツ社会学
URL	
E-mail	sugiyama.susumu@ocha.ac.jp

研究者キーワード / Keywords

大学体育
スポーツ哲学
スポーツ教育学
身体知
身体技能

Physical Education in University
Sport Philosophy
Sport Education
Wisdom of Body
Motor Skill

主要業績

設置基準後の大学体育

研究内容 / Research Pursuits

1981年の大学大綱化以降の旧一般体育科目がどのようにかわっているかを様々なデータを用いて解説したものです。特に全国大学体育連合加盟校を対象として調査データを主としている。そうした中で、以下のようにまとめている。1.多くの大学で大綱化以降も依然として体育実技を必修あるいは選択の差はあるが開講しており、授業の必修は実技が半数以上と依然として多くの大学で実施されている。その種目も多様化している。2.講義の必修は3、4割と減ってきているが、授業形式では演習等の統合型が、内容においては多岐に渡っている。3.教員組織においては分属が相当数あり、3人に1人は人事補充がされない状況がみられる。4.大学体育においても、教養教育としての授業科目としてだけでなく、初年次教育として、学内にとどまらず社会貢献活動をも含めた、新しい専門課程を抱えた活動へと個性化、多様化してきた。5.課外活動への支援活動においても多様化傾向がみられる6.FD活動（研修会・自己点検）が大学体育の新たな一領域となった

■ 教育内容 / Educational Pursuits

スポーツ健康実習等の実技授業の内容と指導方法の改善に努めた。専門科目では、体育教師への関心を深めるべく、保健体育科教育法Iに関連して、附属中高校に授業参観を依頼し、教師養成に成果を挙げている。学生の課外活動支援に関しては、今年度も昨年度同様、運動部活動の低調を憂慮して、運動部代表学生と一緒に、その対策について協議してきている。

■ 研究計画

体育及びスポーツで養成すべき「身体知」とは、どのようなものかについて、人間諸科学の様々な分野から改めて検討する必要があると考えている。特に体育での教育内容を身体知から構築することを構想している。

■ メッセージ

お茶の水女子大学は、女子高等師範学校としての伝統から、今でも女性の教師を輩出してきています。舞踊教育学コースにおいても、女性の体育教師の養成機関としては日本で最も長い歴史をもっており、多くの優れた卒業生が体育界で活躍しています。舞踊教育学コースの名称から、すぐには体育教育と結びつかないかもしれませんが、体育の中で最も女性の資質が活かされる領域に特化したコースが、この舞踊教育学コースです。日本の教育現場は改革続きです。学校だけでなく、教師、生徒、親、行政と問題は山積みのようなのですが、舞踊やスポーツを通じて、大きく社会貢献のできる分野です。本学は教育関連の広い分野に渡って勉学ができます。舞踊はもちろんですが、運動好きで、女子生徒が憧れる女性体育教師を目指す女性に期待します。